

くして、口ヒ、ラグをもて此名ありしと見えたり、巴戟天をヤマヒ、ラギといひしは、又黄芩に依りて此名ありしか、これも味苦きもの也、口ヒバクといふは、神武の御歌に見えたり、

〔和漢三才圖會八十四〕灌木 狗骨 貓兒刺 倭爲杠谷樹 和名比々良木 俗用柘字音 柘本椎之名也、

按狗骨樹肌白滑堅、以堪爲筭珠或象戲碁子、甚美亞于黃楊、其大者作板可旋盒、然性難長、大木希也、續日本紀文武帝大寶二年獻杠谷樹長八尋云云、是等以爲希有之物、其葉四時不凋、厚硬有五稜如刺、有雌雄、其刺柔者爲雌、九月開小花、碎白色、結子小青色、五月熟黑色、似鼠李、女貞之輩、而大如小蓮子、

俗間立春節分夜、插枝葉於門窻、添以海鱷頭爲追儼用、魍魎怖其尖刺、不可敢近之義乎、略 中

此云柘葉、葉有五角、而實黑也、藟樹葉無角、而實赤也、如本草說者似二物相混、不知柘汁亦爲藟乎、

〔本草綱目譯義三十六〕灌木 狗骨 ヒイラギ略 中

一種アリ、此ハ、ホカノキカタザクラ、河州 是ハ山ニ多シ、此ハ狗骨類ニアラズ、別物也、漢名シレズ、葉細ク長シテ、葉ノ邊ニ多ク刺アリ、葉モウスシ、花穂トナリテツク也、ツイ見レバ、ヒラギニ似タル故、メヒラギト云也、本條ノヒラギノ木ハ、切バ白色ノ小キ象牙ノ如キ紋アリ美也、唐ニテハ此木ノ皮ヨリ、トリモチヲトルト云ヘリ、集解ニ、采其木皮煎膏、謂之粘稿云々、日本ニテハモチノ木ヨリトル也、粘稿云ハ、トリモチノコトナリ、

〔本草一家言〕二 狗骨 和名比羅木、略 中 有雌雄二種、又一種生於叡山者、似狗骨、葉極軟薄、有刺、是亦

稱姬比羅木、京北大原、山洛西嵯峨廣澤西小丘上林、樾下小社傍及高雄山路傍多產之、稻彰信云、按綱目本條、時珍云、四五月著花者是也、如比羅木、則十月著花、古人所指狗骨樹是也、二物大體同一類、俱可稱狗骨也、

〔重修本草綱目啓蒙二十五〕灌木 狗骨 ヒイラギ古名 ヒラギ土州 オニヒラギ東國 オ